食品包装の基礎と環境問題

講　座　概　要

食品は容器などに包装されて流通されますが，プラスチックゴミの原因となります。本講座では，昨今の環境問題と食品包装の関わり合いと対応についても考えます。

地方自治体及び産業界において，食品に関する業務に携わっている方向けの内容となりますが，ご興味のある方ならどなたでも受講できます。講師は主に群馬大学食健康科学教育研究センター担当教員が務めます。

実施責任者：食健康科学教育研究センター教授　粕谷　健一

□講義日程

日　　程			講　義　内　容	講　　師
第1日	12月20日（金）	12：40～14：10	**【海洋プラスチックゴミを解決できるか？海洋生分解性プラスチックの可能性】** 最近特に問題となっている海洋プラスチックゴミ問題と，生分解性プラスチックがどのように寄与できるのでしょうか。本講演では，海洋生分解性プラスチックの開発とその現状を紹介いたします。	理工学府 （食健康科学教育研究センター） 教授　粕谷　健一
		14：20～15：50	**【食品包装材料の概要】** 食品は容器などにより包装されて流通していますが，使用される包装の目的や効果のほか，包装に使用される材料と特性，衛生性について考えるとともに，具体的な利用例を通して包装材料についての理解を深めることを目的とします。また，昨今の環境問題と食品包装の関わり合いと対応についても考えます。	理工学府 （食健康科学教育研究センター） 教授　大嶋　孝之 東洋紡株式会社パッケージング開発部　清水 敏之 ※大嶋教授が導入レクチャー（25分程度）をし，その後，清水講師が専門的見地から講義いたします。講義のまとめ（5分程度）を大嶋教授が行います。

群馬大学食健康科学教育研究センター

食品・農林水産分野でご活躍のみなさまへ

参加無料

群馬大学と東洋紡株式会社による**公開講座**

食品包装の基礎と環境問題

（日時）**令和元年12月20日（金）12：40～15：50**
（場所）**桐生キャンパス** 総合研究棟502教室
（**荒牧キャンパス**の社会情報学部棟101教室にて遠隔講義を実施します）

◆ 海洋プラスチックゴミを解決できるか？海洋生分解性プラスチックの可能性（12:40～14:10）

（講師）
粕谷 健一 先生（群馬大学食健康科学教育研究センター・センター長）

（概要）最近特に問題となっている海洋プラスチックゴミ問題に生分解性プラスチックがどのように寄与できるのでしょうか。本講演では、海洋生分解性プラスチックの開発とその現状を紹介いたします。

◆ 食品包装材料の概要 （14:20～15:50）

（講師）
清水 敏之 先生（東洋紡株式会社 パッケージング開発部）

（概要）食品は容器などにより包装されて流通していますが、使用される包装の目的や効果のほか、包装に使用される材料と特性、衛生性について考えるとともに、具体的な利用例を通して包装材料についての理解を深めることを目的とします。また、昨今の環境問題と食品包装の関わり合いと対応についても考えます。

【お問合せ】
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町４－２
国立大学法人群馬大学研究推進部産学連携推進課
荒牧センター事務室
Tel:027-220-7633
E-mail:shokukenkou-c@jimu.gunma-u.ac.jp

お申込はこちら